

2013年 夏の研究会

ロードマップの技術はどこまで実用化されているか?

131012

日本遠隔コミュニケーション支援協会

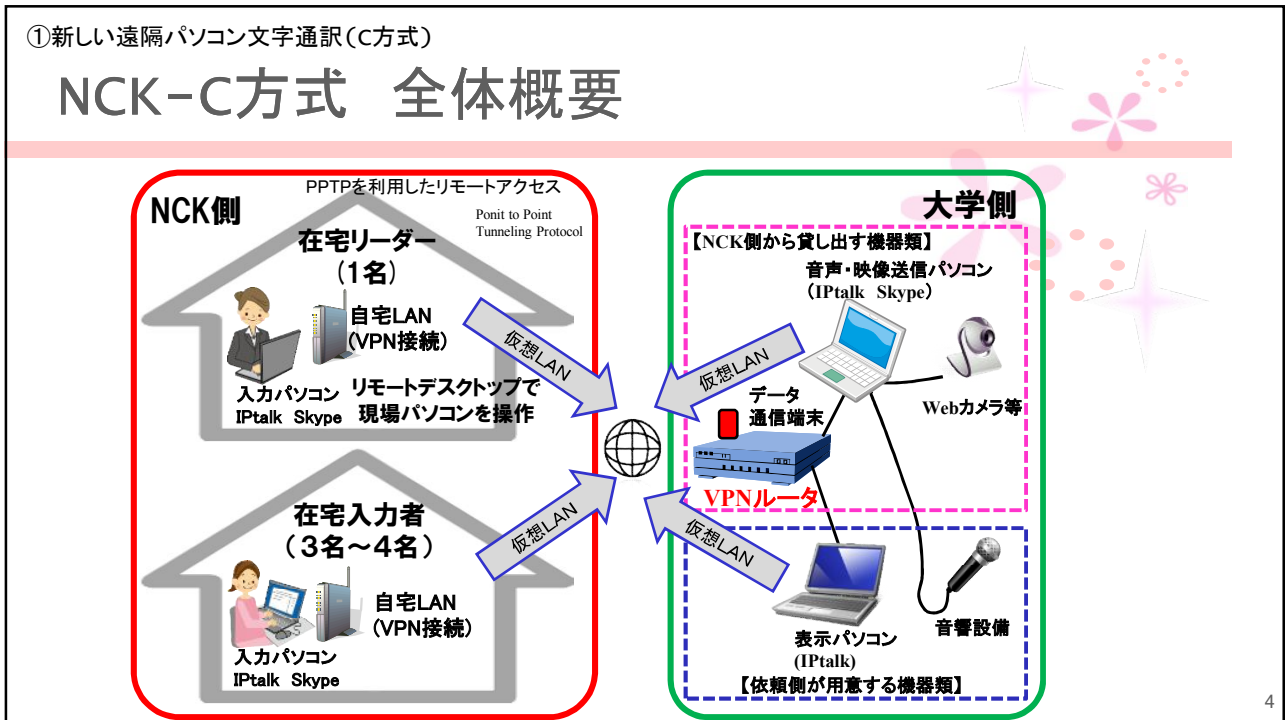
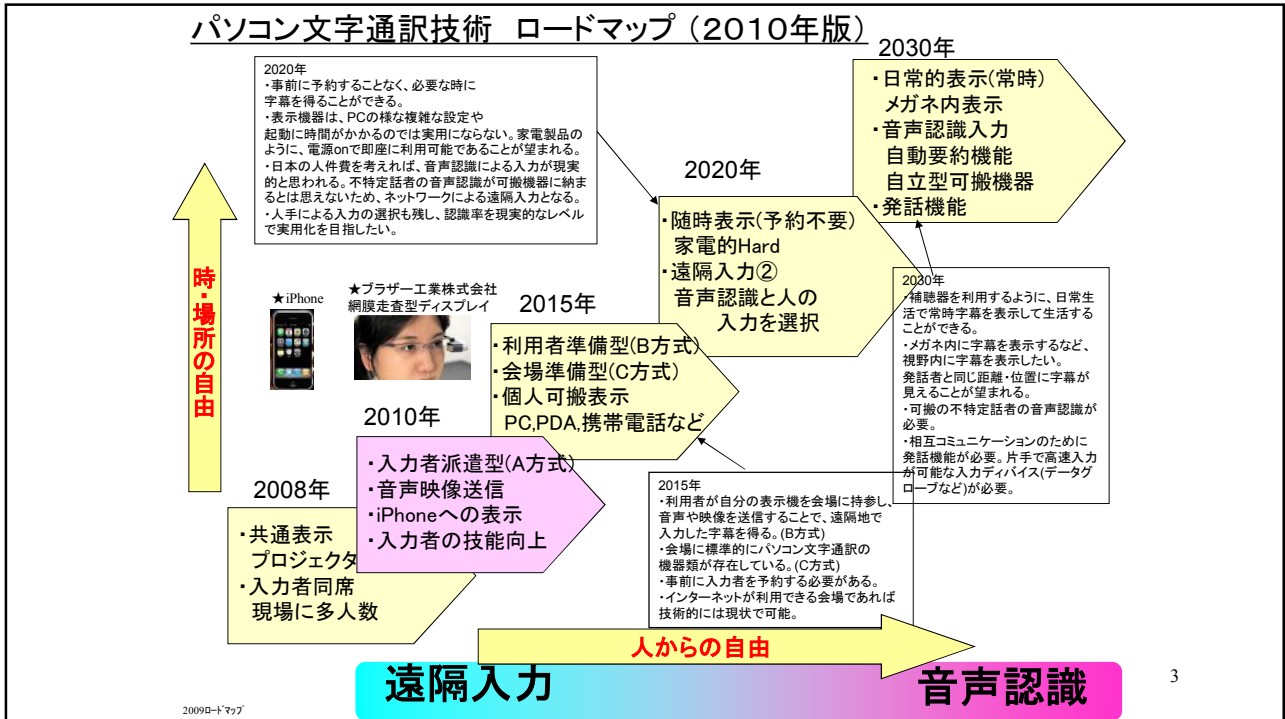
1

スケジュール

- 15:00 開会
15:00-15:05 開会挨拶
15:05-16:30 ①～④を実演
①新しい遠隔パソコン文字通訳(C方式)
②IPtalk9t64の音声認識入力
③ブラザーのヘッドマウントディスプレイ「エアスカウター」
④iPad用IPtalk字幕表示システム「IPtalk Viewer」
16:30-16:50 質疑応答
17:00 閉会

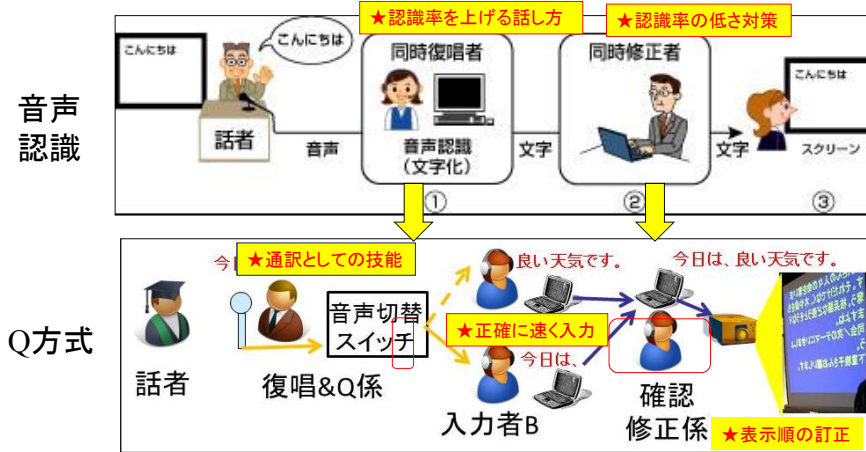
17:30 交流会
月の雫 横浜西口店

2



②IPtalk9t64の音声認識入力

音声認識システムとQue方式



音声認識の精度が上がれば同時復唱者の通訳技能 (文字通訳の方法)が重要となる。

株式会社ビー・ユー・ジー
http://www.bug.co.jp/news/2007/0423_onseijimaku.html

③ブラザーのヘッドマウントディスプレイ「エアスカウター」

シースルー型ヘッドマウントディスプレイ AiRScouter (エアスカウター)

ブラザー販売株式会社



AiRScouter WD-100A (眼鏡着用モデル)



寸法 / へ

AiRScouter WD-100G (裸眼着用モデル)



寸法 / へ

ヘッドマウントディスプレイ	
寸法 / ヘッドディスプレイ	(W)75×(D)40×(H)35mm ケーブル長: 約1.36m
寸法 / コントロールボックス	(W)72.5×(D)19×(H)79mm
重量 / ヘッドディスプレイ	約64g (ケーブル含む)
重量 / コントロールボックス	約75g (microUSBコネクタカバー含む)
発売予定日	2012年6月中旬
価格	オープン価格

<http://www.brother.co.jp/news/2012/airscouter/>

④iPad用IPtalk字幕表示システム「IPtalk Viewer」

IPtalkViewer

NDS株式会社(日本電話施設株式会社)

IPtalkViewer



価格:無料

バージョン:
1.1

App Storeでダウンロード

※「IPtalk」は特定非営利活動法人日本コミュニケーション支援協会により開発されています。

※IPtalkViewerはIPtalkの開発元である「特定非営利活動法人日本コミュニケーション支援協会」とは無関係ですので、「特定非営利活動法人日本コミュニケーション支援協会」への問い合わせ等は行わないでください。

IPtalk ViewerはPC要約筆記を行うアプリケーション「IPtalk」の簡易ビューワです。

IPtalkで入力された、文字をiPadにリアルタイムで表示します。IPtalkはPCを利用し、入力された文字をリアルタイムで表示したり、準備しておいた文章をPCに表示することで、視覚で情報を得ることができる情報保証用のアプリケーションです。

音声の同時通訳を画面に表示したり、英語の字幕を表示する目的にも利用できます。

[特徴]

- ・複数者による入力にも対応しています。(最大8入力)
- ・文字の白黒反転機能により、好みのモードで利用することができます。
- ・文字が入力されている最中にもフォントのサイズを自在に調整できます。
- ・変換前の文字がリアルタイムで表示されるので、次に来る言葉の推測ができます。
- ・画面のスクロール機能を手動にすれば、今まで表示されていた文字を表示することができます。

<http://market.yahoo.co.jp/app/ipn/details/665790643>

7

おわり

8

②IPtalk9t64の音声認識入力

【使い方①】

音声認識を使用し一人入力を行う場合。認識率が高く訂正がほとんど必要ない場合。

- ・「サブ入力ウィンド」の「確定で自動表示(ドラゴンスピーチ)」チェックを入れます。
- ・ドラゴンスピーチを起動し、カーソルを下段入力枠に置いて、音声入力すると確定した文字列が自動的に表示に流れます。この時、キーボード入力と同じように「.」で自動改行などのチェックも有効です。
- ・Undoは、F9キーを押すと表示に流した文字が戻り訂正できます。(もし動作がおかしい時は、tabキーで上段にカーソルを移してF9キーしてください。)
- ・他の人に訂正してもらう場合は、通常のキーボード入力と同じように、「訂正送信」や「送ボタン修正」を使用します。

【使い方②】

キーボード入力の代わりに音声認識を使用(連携入力も可か?)。認識率が低く入力部での訂正を前提とした場合

- ・「サブ入力ウィンド」の「確定で自動表示(ドラゴンスピーチ)」チェックを外します。
- ・ドラゴンスピーチを起動し、カーソルを下段入力枠に置いて、音声入力すると確定した文字列が入力枠に入ります。(表示に流れない)
- ・キーボードで、修正し、Enterで表示に流します。
- ・F9キー(Undo)や「入力1」ページの「入力部の↑↓の動作」などは通常通り有効です。

9

②IPtalk9t64の音声認識入力

【使い方③】

確認修正係りを置く場合。

- ・「サブ入力ウィンド」の「確定で自動表示(ドラゴンスピーチ)」チェックを入れます。
- ・「訂正」ページの「確認修正パレット」で音声認識担当は「入力をパレットに送信する」チェックを入れ、訂正係りは「確認修正パレット表示」ボタンを押して「確認修正パレット」ウィンドを表示する。
- ・音声認識係りは、ドラゴンスピーチを起動し、カーソルを下段入力枠に置いて、音声入力すると確定した文字列は自動的に訂正係りの「確認修正パレット」に送信される。
- ・確認修正係りは、入力文を確認修正して表示に流します。

【ヒント】

- ・「確定で自動表示(ドラゴンスピーチ)」チェックを入れると音声認識された文字列が確定した瞬間に表示や「確認修正パレット」に送信されます。
- 入力枠にしばらく表示させたい場合は、「入力2」ページの「時間で流す」枠の「自動的にEnterし、表示」チェックを入れて、右の時間指定UpDownで「1秒」などを指定します。

【注意】

- ・下段でキーボード入力をした時、未確定の文字列が他のIPtalkの8人モニターやモニター部に表示されません。確定すれば通常と同じように表示されますが、連携入力に音声認識を使用する場合は注意してください。

10